

2026 年 7 月 28 日

各 位

会 社 名：ヤマト モビリティ & Mfg.株式会社

代表者名代表取締役：鈴木昭寿

(スタンダード・コード 7886)

問合せ先：執行役員管理本部長 岩本 滋行

(TEL. 03-3834-3111)

日産アトラス（F24 型・ガソリン車）ベース EV コンバージョン 開発状況のお知らせ

～設計完了の節目として「1,000km 走行確認」を実施、いよいよ量産準備に着手～



ヤマト モビリティ&Mfg.株式会社（代表取締役：鈴木 昭寿、本社：埼玉県川越市、以下「ヤマト・モビリティ」）は、2025 年発売の「三菱ふそうキャンターベース EV コンバージョン」に続く第二弾製品として、「日産アトラス（F24 型・ガソリン車）ベース EV コンバージョン」を 2026 年 8 月に量産開始すべく、開発に取り組んで参りました。これまで、試作初号車の改造認可を経てナンバープレートを取得し、公道での各種試験・検証を積極的に進めておりましたが、このたび開発完了の節目として「1,000km 走行確認」を実施致しましたので、その経過をお知らせ致します。

今回ご紹介する「1,000km 走行確認」は、ヤマトモビリティにおける開発・試験プロセスの一環として企画し、前半と後半に分けて実施致しました。

走行確認の前半では、ヤマトモビリティの拠点が在ります関東圏にて、私たちがEVコンバージョントラックの最も一般的な使用れ方と想定しております「主に都市部での短距離輸送＝『ラストワンマイル配送』」に近い使用パターンで走行と充電を繰り返し、問題や不具合を生じない事を確認する作業を行いました。

後半では、長時間連続走行が続く高速道路や勾配のある郊外路などでの使用でも問題や不具合を生じない事を確認するべく、7月5日20時に横浜を出発、生産委託先となります株式会社オートワークス京都（代表取締役：中西 弘幸、本社：京都府宇治市、以下「オートワークス京都」）の本社工場まで、およそ500kmの連続走行試験を敢行致しました。その結果、私たちの「日産アトラスベース EVコンバージョン」は、試験中に一切の問題を生じることなく、EVによる軽快な走りと実用十分な電費を両立しながら、7月6日の朝8時に無事にオートワークス京都本社工場へ到着、オートワークス京都の関係者と成果を共有することができました。

私たちのEVコンバージョンは、私たち自身の手によって、日本の気候環境や道路状況のもとで厳しい適合開発や性能検証を行っております。今回の「1,000km 走行確認」は、その総決算と言えるもので、日産アトラス EVコンバージョンは自信を持ってお客様にお届けできる性能と品質に仕上がったとの確信を持つことができました。

今後はいよいよ量産準備段階に移る事となり、作業のバトンをオートワークス京都にお渡しする事となります。オートワークス京都は、過去に日産アトラスの量産工場であった経験を活用し、間もなく日産アトラス EVコンバージョンを日本の自動車量産メーカーと遜色無い組立品質で生産開始します。一方でヤマトモビリティも、品質や性能を向上させる努力を止めることなく、今後も引き続き開発と検証を継続して参ります。

両社は、この日産アトラス EVコンバージョン事業を通じて、物流・流通業界全体におけるEV比率の向上と、環境負荷の低減に一層寄与していくとともに、事業のさらなる拡大を図ってまいります。

今後、具体的な生産・販売計画や受注状況に進展があった場合には、改めてお知らせ致します。

以上

◆会社概要は下記をご覧ください。

・ <ヤマト モビリティ&Mfg.株式会社>

URL : <https://www.yamato-in.co.jp/>

・ <株式会社オートワークス京都>

URL : <https://www.awk.co.jp/>

■ 本件に関するお問い合わせ先

ヤマト モビリティ&Mfg.株式会社 管理本部 IR・広報担当

e-mail : contact01@yamato-in.co.jp



走行ルート(試験後半)



横浜事業所出発



夜間 高速道路走行



高速道路 夜間充電



早朝 高速道路走行



一般道 充電



一般道 坂道走行



一般道 走行終盤



オートワークス京都に到着、量産準備作業にボタンタッチ